

香りの研究

(伊藤健康研究所
フレグランス・クリエーション)伊藤秀三郎
北村友見)

第1実験

7~9才(男31人女26人)と10~12才(男19人女24人)の年齢層に就いて、紙片に付香してある香りの判定を、数日間試みた。

某香りの種類は次の如くである。

バラ、ジャスミン、すずらん、バイオレット、シナモン、ハッカ、レモン、イチゴ、
チョコレート、木

《成績》

日毎に正確率が上昇し、性的には女性のちが上位であると思われる。

第2実験

7~12才の児童(男50人女50人)に就いて、芳香本と無香本に対する関心度を調べた。

其付香に使用した香りの種類は次の如くである。

ペパーミント、草、スミレ、ハチミツ、オレンジ、バナナ、ベビーパウダー、バラ

《成績》

関心度は芳香本のちが無香本より高いように思われる。

〈伊藤記〉